

報道関係者 各位

令和7年11月14日
宗像市安全安心な学校づくり課



小学5年生が商品開発で郷土料理の継承を目指す！ 道の駅でレトルト「とりすき」を販売&PR

11月19日(水)に自由ヶ丘小の5年生110人が、宗像の郷土料理「とりすき」を家庭で楽しく継承してもらうため、道の駅むなかたでレトルトとりすきの販売とPRを行います。

郷土料理をより身近に感じてもらうと、子どもたちは道の駅むなかたと協働で「温めるだけで食べられるレトルトとりすき」を開発しました。

販売開始を記念して、当日は子どもたちが道の駅で試食の促進と商品PRを行い、郷土料理の魅力を発信します。



《試食して改善点を考える様子》



《道の駅と開発した「レトルトとりすき」》

【レトルトとりすき販売 PR 概要】

日時：11月19日(水)9:00~10:00

場所：道の駅むなかた(宗像市江口1172)

出席者：自由ヶ丘小学校5年生(110人)

内容：レトルトとりすきの販売PR、郷土料理の魅力発信、とりすきの試食

【レトルトとりすき 概要】

商品名：レトルトとりすき

価格：880円(税込)

販売場所：道の駅むなかた

賞味期限：製造日より3年

【背景】

本取り組みは、自由ヶ丘小5年生の総合的な学習の時間で、地域の食文化の継承と地域活性を目的として実施しています。保護者へのアンケートで、「とりすきを食べたことがない」という声が多く、子どもたちは郷土料理を継承していくことの大切さを実感しました。商品開発では、地元の食生活改善推進会や鶏すき店、保護者などの助言を受け、手軽に食べられるレトルト商品として完成。パッケージも子どもたちが考案しました。賞味期限が3年と長いので、防災食としての活用も期待されています。

【問い合わせ先】※ご取材いただける場合は、事前にご連絡ください

宗像市安全安心な学校づくり課 担当：秋葉 TEL：0940-36-1322